

ふほうせき ふえきよう おやかてん  
傅抱石・傅益瑤 父娘展

文化のかけ橋—墨絵の美の饗演

2022年7月23日(土)～9月11日(日)

会場：コレクション展示室

長野県とゆかりの深い現代中国画壇を代表する水墨画家・傅益瑤とその父で 20 世紀中国絵画の巨匠・傅抱石による初の父娘展を開催します。

二人はともに日本へ留学し、中国伝統の水墨技法を軸に日本で学んだ東洋の美術史や美学を創作の背景に位置づけ、伝統に基づきながらも時代を超えた革新的な水墨表現を展開し、中国画壇に確たる地位を築きました。

本展では日本留学時代前後の戦前作品にくわえ、帰国後、新たに創始した「抱石皴」といわれる画法を駆使して描いた傅抱石の水墨山水と、来日 40 年におよぶ水墨表現の研鑽により生み出された傅益瑤の筆による日本の祭りや寺院障壁画、芭蕉や一茶の俳句から創意した詩意画などの近作を中心に、日本と中国の画境を共有し、新たな地平を切り開いた二人の優品をご紹介します。

## ■ 展覧会概要

ふほうせき ふえきよう おやかてん  
『傅抱石・傅益瑤 父娘展 文化のかけ橋—墨絵の美の饗演』

会 期： 2022年7月23日(土)～2022年9月11日(日)

開館時間： 9:00～17:00 (展示室入場は 16:30 まで)

休 館 日： 水曜日

会 場： 長野県立美術館 2F コレクション展示室

展覧会担当： 上沢修・佐々木裕貴子

主 催： 長野県、長野県立美術館

共 催： 長野県教育委員会

後 援： 一般社団法人 全国旅行業協会、長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、FM 長野、INC 長野ケーブルテレビ

観 覧 料： 一般 500 円、大学生及び 75 歳以上 300 円、高校生以下又は 18 歳未満無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方 1 名は無料

## ■見どころ

- ・本展は、20世紀中国画壇の巨匠・<sup>ふほうせき</sup>傅抱石とその三女で（在日40年を超える）、現代中国画壇を代表する<sup>ふえきよう</sup>傅益瑤の、<sup>おやこ</sup>初の父娘二人展です。
- ・兩人とも日本への留学経験を通じて、自身の作風を大きく発展させました。
- ・日本国内に残る貴重な<sup>ふほうせき</sup>傅抱石作品の中でも、日本留学後に確立した独自技法による風景画と人物画に特にご注目ください。
- ・<sup>ふえきよう</sup>傅益瑤は、中国伝統の筆法による水墨表現を軸に、日本で学んだ画法や美学を画風に取り入れました。エネルギッシュな大作を多数展示いたします。
- ・次々に発表された日本の文化をテーマにした<sup>ふえきよう</sup>傅益瑤の作品の中でも、「日本の祭り絵」や寺院障壁画は圧巻の大型作品ばかりです。本展ではその中でも、諏訪大社御柱祭りや上田市別所温泉の常楽寺襖絵など信州ゆかりの作品をご覧ください。
- ・松尾芭蕉「奥の細道」や小林一茶の俳句から創意を得て制作された詩意画は、<sup>ふえきよう</sup>傅益瑤独自の解釈により創作されたものです。登場人物や背景に描かれる風景などに、郷愁や安らぎを覚えるような作品を鑑賞いただけます。

## ■関連イベント

※新型コロナウイルス感染症等、諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。

※最新情報は美術館ホームページをご覧ください。

### 【記念講演会】

日時：8月20日（土）13：30～15：00

講師：傅益瑤氏（水墨画家）

会場：本館B1Fホール

参加費：無料

定員：60名

申込：必要

※当館ホームページ内申込フォームにて7/23（土）より受付



傅抱石・傅益瑤父娘展 ポスター

お問い合わせ・資料リクエスト先：長野県立美術館 広報・マーケティング室

TEL：026-232-0052 / FAX：026-232-0050 / E-MAIL：nam-pr@naganobunka.or.jp

## ■ 広報用画像 / キャプション / クレジット

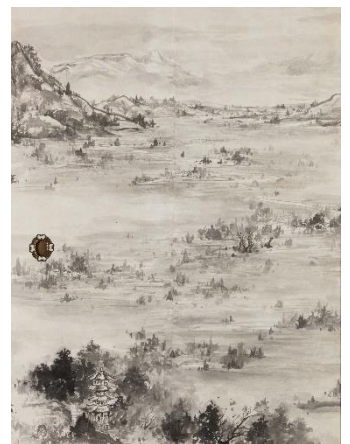
※画像提供をご希望の場合は、「広報用画像申込書」に必要事項をご記入のうえ、メールまたはファックスにてお申し込みください。



① 傅益瑤《元日は田ごとの月こそ恋しけれ》2022年 作家蔵



② 傅益瑤《諏訪大社御柱祭》2009年 作家蔵



③ 傅益瑤《別所古刹風光》1987年 常楽寺美術館蔵



④ 傅抱石《井崗山之頌》1964年 常楽寺美術館蔵



⑤ 傅抱石《山鬼》1964年 傅家蔵



広報用画像申込書

傅抱石・傅益瑤 父娘展  
文化のかけ橋—墨絵の美の饗演

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてお申し込みください。写真はデータにてお送りします。

○をつけてください！	番号	画像名
	①	傅益瑤 《元日は田ごとの月こそ恋しけれ》2022年 作家蔵
	②	傅益瑤 《諏訪大社御柱祭》2009年 作家蔵
	③	傅益瑤 《別所古刹風光》1987年 常楽寺美術館蔵
	④	傅抱石 《井崗山之頌》1964年 常楽寺美術館蔵
	⑤	傅抱石 《山鬼》1964年 傅家蔵

●貴社についてお知らせください

貴社名 \_\_\_\_\_ / 媒体名（雑誌、番組名等）\_\_\_\_\_

ご担当者名 \_\_\_\_\_

所属部署 \_\_\_\_\_

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_ / FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（ ） に発行、または放映予定

※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

お問い合わせ・資料リクエスト先：長野県立美術館 広報・マーケティング室  
TEL：026-232-0052 / FAX：026-232-0050 / E-MAIL：nam-pr@naganobunka.or.jp